

きいて・めもして・こたえよう

夏の せいざの 観察のしかた

なまえ
名前

聞くめあて せいざをみる「時こく」「方角」と、あると「便利な道具」を、
わけてメモしましょう。

おとさない言葉：時こく・方角・道具

放送が終わったら、開いて問題に答えましょう。

やまおり

(1) 夏のせいざを観察するのは、夜の何時ごろがよいと言っていましたか。

(2) 南の空に見える、明るい星三つの大きな三角を、何とよびますか。

(3) 手を照らすライトには、何色のセロハンをかけるとよいですか。○をつけましょう。

ア 青いセロハン

イ 赤いセロハン

ウ 黄色いセロハン

(4) 星の観察について、聞いてみたいことを、一つ「しつものの文」で書きましょう。

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「めも」の面だけを表にする（問題を先に見せない）。
- ② この放送文を先生が読む（または用意した音声流す）。読む回数：2回。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

夏の夜空には、明るい星がたくさん見えます。今日は、夏のせいざを観察するときのポイントを話します。うまく見つけられるように、しっかりメモしましょう。

まず、見る時こくです。星がよく見えるのは、空が暗くなった、夜の八時ごろからです。方角は、南の空を見ましょう。南の高いところに、明るい星が三つ、大きな三角の形になっています。これが「夏の大三角」です。

つぎに、道具です。星の名前を調べるために、せいざ早見ばんがあると便利です。手元を照らすときは、赤いセロハンをかけたライトを使うと、目が暗さになれたままで、星を見つけやすくなります。

星を長い間見ていると、少しずつ動いて見えます。これは、地球が回っているからです。すずしいふくそうで、家の人といっしょに観察してみてくださいね。

メモのれい

夏のせいざの観察

時こく：夜八時ごろ／方角：南の空

夏の大三角＝明るい星三つ・大きな三角

道具：せいざ早見ばん・赤いセロハンのライト（目が暗さになれる）

こたえと かいせつ

（1）（夜の）八時ごろ

「空が暗くなった、夜の八時ごろからです」と言っていました。

（2）夏の大三角

「明るい星が三つ、大きな三角の形になっています。これが『夏の大三角』です」の部分です。

（3）イ（赤いセロハン）

「赤いセロハンをかけたライトを使うと、目が暗さになれたまま」と言っていました。青や黄色ではありません。

（4）（例）ほかには、どんなせいざが見えますか。／早見ばんは、どこで買えますか。

星の観察に関係する「たずねる文（～ですか。）」になっていれば正解です。